



会 議 録

会議の名称	令和4年度第1回名取市行政改革推進会議
開催日時	令和4年7月21日(木) 午前10時00分～午前11時15分
開催場所	議会棟第1・2委員会室
出席者	高橋会長、小島委員、林委員、阿部委員、中村委員、 須永委員、岩井委員、川村委員、櫻井委員、伊藤委員、今野委員
欠席者	遠藤委員、相澤委員、松藤委員
事務局	山家政策企画課長、朽木課長補佐、佐藤旭一主幹兼係長、佐藤恭主査
公開・非公開の別 (非公開の場合はその理由)	公開
傍聴人の数 (公開した場合)	0人

開会の前に委嘱状の交付を実施

1 開 会

2 会長あいさつ

※事務局職員紹介

3 会議の公開

名取市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条第2項の規定により本会議が公開の対象であること、同要綱第4条の規定により全て公開とすることに問題はない旨を説明。協議の結果、公開することについて異議はなかった。また、議事録については要点筆記とすることについて諮り、了承を得た。

4 議 題

(1) 報告事項

「令和4年度第六次名取市行財政改革大綱実施計画取組方針」について
資料を基に事務局説明。

事務局説明後、会長より資料1、資料1-1から1-4について、委員から意見・
質問を求めた。



- 委員 資料1-1(1ページ)のNo.5公共交通体系の見直しについて、デマンド交通とあるが、これはなとりん号とデマンドタクシーという考えか。
- 事務局 現在のなとりん号は、幹線路線と生活路線の二系統で運行しているものである。幹線路線は、朝晩の通勤通学をメインに、生活路線は日中帯の買い物や病院へ行くための手段として運行しているが、生活路線の利用率が少ないことから、デマンドタクシーのような形で検討を進めているものである。
- 委員 デマンドタクシーということだが、他の自治体の状況も確認しているのか。実際に運行している自治体があると思うが、逆に不便になったという話も聞く。制限されることも出てきて、逆に1人当たりのコストもかかり、遠回りとなる場合も考えられるので、そのあたりも検討してもらいたい。
- 事務局 他の自治体の状況も確認している。また、タクシーと全く同じだと競合してしまうので、タクシーより制限はあるが、高齢者の方でバス停まで行くのも大変な地域もあるので、自宅の近くまで行けるような形で運行できないか現在検討しているものである。
- 委員 関連して、介護長寿課で高齢者にバス・タクシー券の交付をしていると思うが、その交付率及び利用率というものを資料として欲しい。デマンドタクシーとなった場合に、タクシー券が使えるのかどうかや、交付率や利用率を把握した上で計画を検討する必要があるのではないか。
- 事務局 担当課で資料データとしてあるので、議事録と一緒に送付する。
- 委員 デマンドタクシーについては、業務委託をする考えで進めているのか。
- 事務局 運行の業務委託を考えている。乗車人数などもあるので、バス会社にするかタクシー会社にするか、現状調査しながら検討しているものである。
- 委員 資料1-1(1ページ)のNo.4 児童センターの指定管理者制度導入について、現状は児童センターが放課後児童クラブになっていると感じる。今後、指定管理者制度を導入、移行していくにあたり、児童センターの役割について、少し見直ししてもらいたい。
例えば、中学生、高校生は行きにくい、受け入れてもらえない現状がある。放課後児童クラブ登録者以外の利用者が利用しやすい児童センターの運営を考え

てもらいたい。児童センターの役割として、どこまでサービスの提供が可能かどうか検討してもらいたい

事務局 担当課に申し伝える。

委員 関連して、計画期間中に指定管理者制度導入に関して、1施設以上とあるが、ゆりが丘児童センター以外の他の児童センターにおいても検討しているのか。

事務局 ゆりが丘児童センターは、令和4年度から業務委託を実施している。それ以外の市直営の児童センターについては、令和6年度にもう1か所以上について、業務委託や指定管理者制度を導入できないか担当課で検討中であるが、まだどこにするかは決まっていない。

委員 職員の採用について、市内及び市外在住者の割合状況について参考に教えていただきたい。

委員 個人情報の問題もあるので、公表できるかどうか事務局で検討してもらい、担当課に確認してもらいたい。

委員 資料1-1（2ページ）のNo.6 次世代を担う職員の育成について、他自治体における人材育成方針の情報収集とあるが、具体的にはどこの自治体か。情報収集する対象が効率的に行政運営をしていて評価が高い団体でなければならない。

事務局 県内の人材育成基本方針を策定している団体から情報収集をしている。また、総務省モデルが示されているので、それを基に作成していくこととしている。

委員 人材育成について、民間でも様々な研修がある。行政に携わる職員は幅広くその業務を行っていかなければならないと思うが、民間が実施している研修などは利用しているのか。

事務局 人材育成については、例えば、窓口対応の部署であれば、コミュニケーション能力や相手の視点を理解する能力の向上につながるような研修を受けるようにしている。また、民間企業の研修であれば、現在はDX関係については、多くの企業で開催されているので、ウェブ研修も含めて積極的に受けるように進めている。

- 委員 子ども関係の研修を開催しているが、行政の方も積極的に参加してくれる方もいる。個人的に受講してくれているのか、職員として受講してくれているのかは定かではないが、大変興味を持っていただいている。民間において、それぞれの分野で専門的知識を持った方が沢山いるので、そのようなところに行政の方が気軽に受講できるようなシステムがあると非常に有効だと思う。
- 委員 資料1-4（7ページ）のNo.17 定員管理計画に基づく定数管理について、当年度から各年度で人数に増減が出る理由について教えてもらいたい。
- 事務局 定年延長が段階的に導入されることにより、定年退職者がいないため一時的に増となるものである。また、採用については、平準化している。
- 委員 資料1-4（8ページ）のNo.20 街路灯・橋梁灯・公園灯への環境配慮型照明の導入について、児童センターのホールについて実施するとのことだが、LED化するのホールのみか。
- 事務局 ホールについて全児童センターにおいてLED化実施する計画で進めているので、ホールのみである。
- 委員 関連して、都市計画課分において、令和4年度及び令和5年度については休止とあるが、何で休止となるのか。やめた理由は。
- 事務局 みやぎ環境交付金の予算枠が決まっており、その予算を市で配分しているので、今回、児童センター分に充当するためである。
- 委員 街路灯などのLED化について、照明器具は年数が経過するとメーカーでも製造中止となってしまう。その場合、本体ごと交換しないといけなくなる。例えば名取駅があるが、都市計画課分は休止となっており一切やらないということだが、市としてどのように考えているのか。修繕費は全く予算措置していないということか。
- 事務局 みやぎ環境交付金を使用した財源については予算はないが、一般的な通常の維持管理経費については予算化しており、そちらで対応するものである。修繕費が全くなく、修繕に対応できないというものではない。

(2) その他

- 委員 今回の項目にはないが、中総体の陸上競技関係を名取市内で開催できないものか。できるようにしてもらいたい。
- 事務局 名取市の十三塚の陸上競技場は、公式な大会の競技場としての規程、要件を満たしていないため開催できない。
- 委員 管理費等もかかると思うが、いずれは開催できるようお願いしたい。
- 委員 公認施設となる要件は厳しくなっていると思うが、担当部署とも相談してもらいたい。
- 委員 最近、コロナウイルス感染症が拡大しており、名取市の罹患者数が多くなっている。クラスターは発生していないが、仙台市に隣接していて、勤務地や交流しているからなのか。市民の関心は非常に高い。
- 事務局 お見込みのとおり、仙台市との交流人口が多いので、感染者も多くなっていると市でも捉えている。
- 委員 仙台市内に比べ、名取市内の道路照明、街路灯が暗い。
- 委員 国道や県道などもあり、市としても要望はしていると思うが、行政として市域内においてもっと強く関わっていただきたい。
例えば中心市街地にぎわいづくりということで県道の歩道整備でバリアフリーを進めているが、地権者交渉で進まない部分もある。県道ではあるが、市として、行政としてやってもらいたい。
- 委員 人口も増えているのになぜ警察署が名取に無いのかというのもある。そういうのも含め、市の内部で担当部局に伝えてもらえればと思う。
- 事務局 次の会議は来年の3月の開催を予定している。

5 閉会

以上

令和 4 年 9 月 2 日

会 長 高橋 真
